

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査書

(1) 取組名	世界遺産をめざす旧産炭地・田川再生事業 ～ 産・官・民・学が協働する保養滞在型エコツーリズムの実現 ～		
(2) 実施団体名	公立大学法人福岡県立大学	(3) 対象地域	福岡県田川市(将来的には1市6町1村の福岡県田川郡に拡大する。)
(4) 代表団体名	—	(5) 推薦団体名	福岡県田川市

(6)実施した取組の内容	取組①	世界遺産やエコツーリズムの可能性、旧産炭地の誇り育成に向けた調査研究	
	実施主体	公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が支援・協働	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:近代化産業遺産群、市民アンケート調査(5千人)、市民モニターツアーの実施、産業遺産マップ・観光資源データベース・エコマップを作成の上、情報発信する。 ・実施時期:H20年9月～11月 ・実施場所:田川市内 ・取組の目的:産業遺産群等調査や市民意識調査、マップ作成等を通して、世界遺産エコツーリズムの可能性を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:近代化産業遺産群の現地調査を実施、市民郵送アンケートを実施(回収数:1,574部、回収率:31.5%)、市民モニターツアーを実施(参加者:43人)、産業遺産マップ、観光資源データベース、エコマップを作成し、田川ポータルサイトに掲載 ・実施時期:H20年9月～H21年3月 ・実施場所:田川市、田川郡町村 ・取組の結果:市民意識調査の結果、回答者の約73%の人が産業遺産に関心を有するなど、本事業を持続的・主体的に展開していく素地があることが確認できた。また、産業遺産や自然環境等の調査を踏まえたマップ作成と情報発信を開始した。
	取組②	学生・留学生ボランティアの体験学習・人材の把握と地域貢献取組の組織化	
	実施主体	公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が支援・協働	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:学内ボランティア団体の実態調査、ボランティア学生・地域へのヒアリング・分析、ボランティア未組織者に対する団体への組織化、ボランティア支援団体への組織化 ・実施時期:H20年9月～12月 ・実施場所:田川市郡 ・取組の目的:ボランティア活動を行っている学生・留学生を組織化し、人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:学生1千人を対象としたアンケートを実施し、ボランティアの状況及び団体の状況を把握・分析、地域のボランティア受け入れ団体(17団体)を対象にヒアリング・分析を実施、未組織者を把握し、新たに10団体を組織化及び留学生の体験学習 ・実施時期:H20年9月～H21年3月 ・実施場所:田川市郡、北九州市等 ・取組の結果:学生の約7割がボランティア活動の経験があるとの調査結果を踏まえ、学生ボランティア支援体制を強化し、新たに10団体を組織化するなど、地域貢献に向けた学生の意識を高めるなどの波及効果を得ることができた。
	取組③	第3回炭坑節まつり成功と農産物展示・販売、インターネットショップ設立	
実施主体	公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が支援・協働		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:たがわポータルサイトの開設、田川市観光協会の設立 ・実施時期:H20年9月～H21年3月 ・実施場所:たがわ情報センター内 ・取組の目的:ポータルサイトを立ち上げ、各種情報を発信すると共に、地域物産のネット販売のできる体制を確立。また、田川市観光協会の設立を支援し、炭坑節まつりの成功を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:たがわポータルサイトを開設、田川市観光協会を設立 ・実施時期:H20年8月～H21年3月 ・実施場所:たがわ情報センター内 ・取組の結果:18のサイトからなるポータルサイトを開設し、田川の情報を発信するとともに、JA田川とリンクしネット販売の紹介を実施。さらに、田川市観光協会の設立や炭坑節まつりの開催などとの相乗効果により、地域活性化に向け弾みを付けることが出来た。 	

(6)実施した取組の内容	取組④	1000人が集結する世界遺産国際シンポジウムの実施・成功	
	実施主体	公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会、民間団体が支援・協働	
(7)実施体制	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:世界遺産国際シンポジウムの開催 ・実施時期:H20年10月～2月 ・実施場所:田川市 ・参加者:1000人(シンポジウム) ・取組の目的:九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録運動の盛り上がりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:世界遺産田川国際シンポジウム・研究会の開催及びフィールドワークを実施 ・実施時期:シンポジウム:H21年2月15日(日) この他に研究会、フィールドワークを実施。 ・実施場所:シンポジウム:田川文化センター ・参加者:シンポジウム:1000人・研究会:延べ120人 ・取組の結果:九州・山口の近代化産業遺産群が、世界遺産暫定リストに追加後の開催であったことから、地域の人々の関心の高さは予想以上であった。今後は、世界遺産への登録実現に向けた更なる取組が必要との認識を得た。
(8)取組により得られた成果	○成果1→	保養滞在型観光客・交流客の増大を図るため、世界遺産エコツーリズムの可能性調査を実施するとともに田川市の産業遺産エコツーリズム資料を作製し発信する。	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		世界遺産・エコツーリズム調査は未実施。	・5000人を対象としたアンケート調査を実施し、認知度・可能性・ふるさとへの誇り意識を向上
		H20(実際に得られた成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民郵送アンケートでは、5000人のうち1,574人からの回答を得た。世界遺産に対する関心を持つ人が73%と高いことを把握するとともに、田川の将来像に関する情報も収集できた。 ・モニターツアーは、43名の参加者で実施。参加者アンケートの結果から、産業遺産に関する理解も深く、新たなエコツーリズム産業への期待が明らかになった。 ・世界遺産エコツーリズム調査を受けて保養滞在型エコツーリズムとしての田川市のポテンシャルが高いことが確認できた。 	
	○成果2→	人財育成のためにボランティア活動を行っている学生・留学生の組織化を図り、福祉総合的なマネジメント力を発揮できる質の高い人財育成を図る。	
		H19	H20(当初予定していた目標)
		ボランティア団体に対する支援組織が未整備。	学生ボランティアの組織化(10団体)
		H20(実際に得られた成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対するアンケート、ボランティア先・学生へのヒアリングを実施し、ボランティア活動の実態を把握した。これを受け、学生ボランティア団体の組織化を推進し、新たに10団体を組織化することができた。 ・学生・留学生の地域貢献活動による、キャリア形成及び地域活性化のための支援機関としてのボランティア支援センターの設立準備ができた。 	

○成果3→炭坑節まつりの成功、農産物中心ネットショッピングなどIT関連システムの活用・発信及び田川市観光協会を設立する。									
H19									
<ul style="list-style-type: none"> ・第2回炭坑節まつり:1.2万人 ・第2回世界遺産シンポジウム参加者:450人 ・田川市石炭・歴史博物館来館者:約2.2万人 ・田川市美術館来館者:約3.9万人 ・観光客日帰り客:23万人 宿泊客:2万人 ・田川市観光協会なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回炭坑節まつり:観光客の倍増 ・第3回世界遺産シンポジウム参加者:1000人 ・田川市石炭・歴史博物館来館者:約5万人 ・田川市美術館来館者:約8万人 ・観光客日帰り客:30万人 宿泊客:3万人 ・田川市観光協会の設立 								
H20(当初予定していた目標)									
H20(実際に得られた成果)									
<ul style="list-style-type: none"> ・炭坑節まつりは、前年を2千人上回る1万4千人が来場し、今後も継続的に観光客の増加が見込まれる。 ・世界遺産国際シンポジウムは、目標どおりの1千人が参加し、世界遺産登録に向けての機運が高まるとともに、産業遺産や観光資源を活用したエコツーリズムへの関心を高めることができた。 ・石炭・歴史博物館の来館者は3万人であるが、竪坑櫓・二本煙突が世界遺産暫定リストに記載されたことから、今後の来館者の増加が期待される。 ・美術館の来館者は約4万人、観光客日帰り客は約28万人、宿泊客は約2万人であるが、田川市観光協会の設立、鳥尾トンネル開通、福岡から田川へ直行バスの運行、観光ルートの開発に伴い、一層の増加が期待される。 ・田川市観光協会については、平成20年9月5日に発会式を行い、部会活動が行われるなど成果があがっている。 ・ポータルサイトを立ち上げ、農産物などのネット販売の紹介などIT関連システムを活用した最新の形式で整備することができた。 									
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・旧産炭地・過疎地での産業遺産や自然・農林水産物を活用した持続的発展のための地方都市モデルとしての基本フレームを作ることができた。 ・H20年度は対象地域を田川市としたが、本事業の目的は田川地区(人口14万人)の地域活性化にあることから、翌年度は田川郡町村の取組に拡大する。 ・学生・留学生ボランティア団体の組織化成功の成果を受け、地域貢献組織としてボランティア支援センターを設立し、キャリア形成と地域活性化を図る。 ・たがわポータルサイトを立ち上げ、資源情報発信を行っているが、今後は田川郡町村の情報も発信し、販売増大を図る。 ・近代化産業遺産群の世界遺産暫定リスト入りに伴い、登録実現に向けた取組を、6県・11市で構成する世界遺産登録推進協議会と連携して行う。 								
(10)平成21年度以降の活動の見込み	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>1. 報告提案書の検討・戦略目標の再検討と世界遺産に向けた取組の強化(H21～26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案報告書への専門家・市民からのヒアリング ・世界遺産化の実現とそのためへの要請・地域関連資産の整備活動 ・田川活性化・観光交流センターの建設(H26年度完成) </td> <td> <p>1. 報告提案書の検討と世界遺産登録に向けた取組(H21～26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学と田川元気再生推進協議会が主体 ・報告提案書への専門家や市民から意見聴取 ・世界遺産登録の実現に向け、関係機関への要請行動、田川地域の関連資産を整備 ・田川郡(6町1村)の自然・文化・産業資源調査を実施しポータルサイトへの追加 ・田川地域の観光・交流の中核となる田川活性化・交流センターの建設(H26年度完成) <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)】</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>2. 保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業実施(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川元気再生推進協議会、市民、学生、留学生ボランティアによる保養滞在型観光等のモデル事業の実施 </td> <td> <p>2. 保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業実施(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が連携 ・保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業(プログラム開発、ルート開発など)の実施 ・メルマガやネットショッピングなどITシステムの更なる充実を図る <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)】</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>3. ボランティア支援センターの設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・留学生ボランティア支援センターを設立 </td> <td> <p>3. ボランティアセンターの設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が協働 ・学生・留学生へのアンケート、10団体の組織化を踏まえ、ボランティア支援センターを設立 ・地域貢献・連携活動も兼ね田川地域活性化活動を行う <p>【活用を希望する制度:文部科学省のGPIに応募予定、地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額600万円)】</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>4. 田川地区観光協会の設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産と保養滞在型エコツーリズムによる地域再生 </td> <td> <p>4. 田川地区観光協会の設立、第4回炭坑節まつりの成功(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が支援連携。田川元気再生推進協議会が主体 ・田川市観光協会設立の成果を踏まえ、エコツーリズム推進組織・田川地区観光協会を設立 ・第4回炭坑節まつり(H21年11月)の成功により、観光・交流人口増大を図る <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額800万円)】</p> </td> </tr> </table>	<p>1. 報告提案書の検討・戦略目標の再検討と世界遺産に向けた取組の強化(H21～26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案報告書への専門家・市民からのヒアリング ・世界遺産化の実現とそのためへの要請・地域関連資産の整備活動 ・田川活性化・観光交流センターの建設(H26年度完成) 	<p>1. 報告提案書の検討と世界遺産登録に向けた取組(H21～26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学と田川元気再生推進協議会が主体 ・報告提案書への専門家や市民から意見聴取 ・世界遺産登録の実現に向け、関係機関への要請行動、田川地域の関連資産を整備 ・田川郡(6町1村)の自然・文化・産業資源調査を実施しポータルサイトへの追加 ・田川地域の観光・交流の中核となる田川活性化・交流センターの建設(H26年度完成) <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)】</p>	<p>2. 保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業実施(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川元気再生推進協議会、市民、学生、留学生ボランティアによる保養滞在型観光等のモデル事業の実施 	<p>2. 保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業実施(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が連携 ・保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業(プログラム開発、ルート開発など)の実施 ・メルマガやネットショッピングなどITシステムの更なる充実を図る <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)】</p>	<p>3. ボランティア支援センターの設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・留学生ボランティア支援センターを設立 	<p>3. ボランティアセンターの設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が協働 ・学生・留学生へのアンケート、10団体の組織化を踏まえ、ボランティア支援センターを設立 ・地域貢献・連携活動も兼ね田川地域活性化活動を行う <p>【活用を希望する制度:文部科学省のGPIに応募予定、地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額600万円)】</p>	<p>4. 田川地区観光協会の設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産と保養滞在型エコツーリズムによる地域再生 	<p>4. 田川地区観光協会の設立、第4回炭坑節まつりの成功(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が支援連携。田川元気再生推進協議会が主体 ・田川市観光協会設立の成果を踏まえ、エコツーリズム推進組織・田川地区観光協会を設立 ・第4回炭坑節まつり(H21年11月)の成功により、観光・交流人口増大を図る <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額800万円)】</p>
<p>1. 報告提案書の検討・戦略目標の再検討と世界遺産に向けた取組の強化(H21～26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案報告書への専門家・市民からのヒアリング ・世界遺産化の実現とそのためへの要請・地域関連資産の整備活動 ・田川活性化・観光交流センターの建設(H26年度完成) 	<p>1. 報告提案書の検討と世界遺産登録に向けた取組(H21～26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学と田川元気再生推進協議会が主体 ・報告提案書への専門家や市民から意見聴取 ・世界遺産登録の実現に向け、関係機関への要請行動、田川地域の関連資産を整備 ・田川郡(6町1村)の自然・文化・産業資源調査を実施しポータルサイトへの追加 ・田川地域の観光・交流の中核となる田川活性化・交流センターの建設(H26年度完成) <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)】</p>								
<p>2. 保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業実施(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川元気再生推進協議会、市民、学生、留学生ボランティアによる保養滞在型観光等のモデル事業の実施 	<p>2. 保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業実施(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が連携 ・保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業(プログラム開発、ルート開発など)の実施 ・メルマガやネットショッピングなどITシステムの更なる充実を図る <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)】</p>								
<p>3. ボランティア支援センターの設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生・留学生ボランティア支援センターを設立 	<p>3. ボランティアセンターの設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が協働 ・学生・留学生へのアンケート、10団体の組織化を踏まえ、ボランティア支援センターを設立 ・地域貢献・連携活動も兼ね田川地域活性化活動を行う <p>【活用を希望する制度:文部科学省のGPIに応募予定、地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額600万円)】</p>								
<p>4. 田川地区観光協会の設立(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産と保養滞在型エコツーリズムによる地域再生 	<p>4. 田川地区観光協会の設立、第4回炭坑節まつりの成功(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:公立大学法人福岡県立大学が支援連携。田川元気再生推進協議会が主体 ・田川市観光協会設立の成果を踏まえ、エコツーリズム推進組織・田川地区観光協会を設立 ・第4回炭坑節まつり(H21年11月)の成功により、観光・交流人口増大を図る <p>【活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額800万円)】</p>								

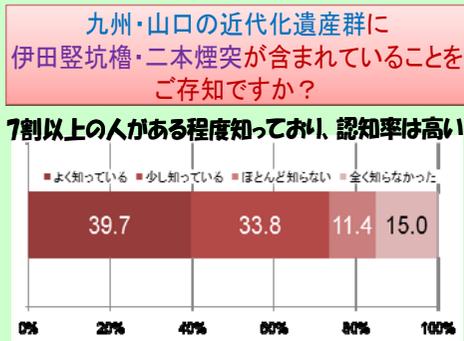
◆ 主な実施取組の内容 ◆

実施取組内容

取組① : 世界遺産やエコツーリズムの可能性、旧産炭地の誇り育成に向けた調査研究
 実施主体: 公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が支援・協働。
 実施内容・結果: 市民モニターツアー、市民アンケートの実施、地域資源マップの作成
 取組② : 学生・留学生ボランティアの体験学習・人財の把握と地域貢献取組の組織化
 実施主体: 公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が支援・協働。
 実施内容・結果: 学生アンケートの実施



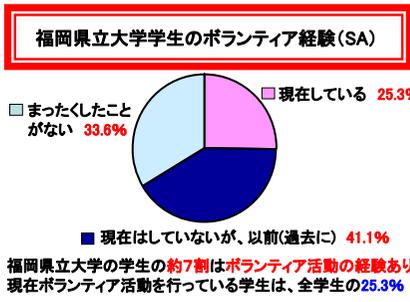
取組① 市民モニター



取組① 市民アンケート



取組① 地域資源マップ



取組② 学生アンケート

実施取組内容

取組③ : 第3回炭坑節まつり成功と農産物展示・販売、インターネットショップ設立
 実施主体: 公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会が支援・協働。
 実施内容・結果: 第3回炭坑節まつりの支援、田川市観光協会の設立、田川ポータルサイトの開設
 取組④ : 1000人が集結する世界遺産国際シンポジウムの成功
 実施主体: 公立大学法人福岡県立大学が主体。田川元気再生推進協議会、民間団体が支援・協働
 実施内容・世界遺産国際シンポジウムの開催



取組③ 第3回炭坑節まつり



取組③ 田川市観光協会



取組③ ポータルサイト



取組④ シンポジウム

◆ 取組実施による成果・今後の展開 ◆

1. 産業遺産マップの作成、観光資源データベース化、エコマップの作成を踏まえ、保養滞在型観光・エコツーリズムのモデル事業(プログラム開発、ルート開発など)を実施する。
2. 学生のアンケート調査結果、ボランティア団体の組織化を踏まえ、ボランティアセンターを設立するとともに、地域貢献・連携活動も兼ねた田川地域活性化活動を行う。
3. たがわポータルサイトの開設を踏まえ、メールマガジン、インターネットショッピングの充実に向けたITシステムづくりを行う。
4. 田川市観光協会の設立を踏まえ、エコツーリズムの推進組織とする田川地区観光協会を設立する。
5. 炭坑節まつりは、年々観光客が増加している。H21年度も成功支援することにより、観光・交流人口の増大を図る。